

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年5月20日（木） 18時30分から20時
会 場	中野区役所 7階会議室
テ ー マ	区政の構造改革
出席者 区 民	計12人
区 側	区長、構造改革担当部長、企画課長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>本日のタウンミーティングは、区政の構造改革がテーマである。構造改革は、新たな行政需要に応じた効率的かつ効果的な区民サービスの展開を図るため、行財政の構造的な改革を集中的に進めるものである。これまでに改革ができなかった部分についても抜本的に見直す必要があり、経費を削減するだけでなく、今後のあり方を考えるのが構造改革である。</p> <p>現在、緊急事態宣言下で午後8時以降の会合自粛を呼びかけており、時間的な制約はあるが、本日は区政に対する素朴な疑問も頂いて気づきを得たいと考えている。</p>	
<p>中野区構造改革実行プログラムは基本計画等を下支えするものであるが、財政的な理由により同プログラムが最上位の計画とならないか危惧している。</p> <p>また、PDCAサイクルの中で検証を行うこととされているが、中間まとめなどへの区民参加を保障することにより区民にも見えるようにしてほしい。</p>	<p>中野区構造改革実行プログラムは、基本計画を下支えするものに位置づけており、基本計画に沿った形で、内容が矛盾しないように整理している。また、経費の節減が目的ではなく、今後のあり方を考える内容としている。同プログラムは、策定後も検証を継続していく。また、経過についても、随時、区ホームページで公表する。</p>
<p>中野区構造改革実行プログラムのうち個別プログラムについて、生活困窮者の自立支援はとても重要な施策であるため着実に推進してほしい。</p>	<p>生活困窮者への支援は、区の重要課題であり、新区役所の整備を契機とした生活困窮者の自立支援・相談支援の窓口や体制については、現在、検討しているところである。</p>
<p>中野区構造改革実行プログラムについて、戦略の詳細を第2回定例会で報告することとされているが、その内容については、区民にも同時に周知してほしい。</p>	<p>区議会への報告にあわせ、区ホームページで閲覧できるようにしていく。</p>
<p>子育てにふさわしい環境を実現するためには、担当する職員が必要であるが、区としては職員2000人体制を本当に堅持するのかが、今後のデジタル化によって職員をどの程度減らす予定があるのか。</p> <p>ICTで代用できるものであれば退職不補充でも良いと思うが、区民に対して直接サービスを行う部分については、職員を減らしてほしくない。</p>	<p>23区と比較した場合の中野区の職員数は、人口比で見ると、平均的なところに位置している。今後、業務分析をし、行政サービスのデジタルシフト化や業務のシステム化を行うことにより、職員数を削減できる可能性はあるが、必要なところには、職員を配置していく。</p>
<p>中野区構造改革実行プログラムの基本方針について、どの項目に集中するかが大事である。デジタル化も大事だが子育て施策も着実に推進してほしい。子育て施策に関して先進自治体についてもベンチマークに入れて分析してほしい。</p>	<p>区は子育て先進区として選ばれる自治体を目指しており、子育て施策を集中的に展開し、次世代に投資する必要がある。</p> <p>子育て先進区の取組は、策定予定の基本計画の重点プロジェクトとして位置づけ、施策ごとの成果指標も示していく。</p>
<p>職員体制について、業務委託を増やしていくと職員が育たない。中野区職員の人材育成の観点で人材配置を行ってほしい。</p>	<p>業務委託によって職員のノウハウが失われる部分もある。アウトソーシングをしていくものについては、内容を明確に示していきたい。</p>
<p>中野区構造改革実行プログラムにおける個別プログラムについて、エネルギーシフトを大きな柱にしても良いと思う。区内で発電したり、国内の自然エネルギーを区が購入するなど、循環の仕組みを切り替えられるのではないかと。</p> <p>区有施設については、建設段階からエネルギーを使わない省エネルギー化を図るべきだと思う。最終的には低コストで維持できるので区の財政の助けにもなると思う。</p>	<p>エネルギーシフトについて、構造改革の視点を入れて変えていくことも必要であると考えている。区は、ゼロカーボンシティ宣言を今年行う予定である。</p> <p>また、新区役所については、CASBEE（建築環境総合性能評価システム）の最高評価であるSランクを取得する計画である。</p> <p>中長期的に見ても、中野区の調達しているエネルギーのほとんどが新エネルギーである。高圧電力施設は概ね切り替えが終了しており、低圧電力施設についても検討中である。庁有車についてもガソリン車から電気自動車等の環境に配慮した車への切り替えを考えている。</p>
<p>区の今年度予算のうち一般財源、特に特別区税及び特別区交付金は合計58億円の減となっている。DX（デジタルトランスフォーメーション）については今後進めていかざるを得ないと思うが、中野区構造改革実行プログラムの個別プログラムのうち、生活困窮者の自立支援はとても重要な施策であるため、推進してほしい。予算の配分は選択と集中が必要であり、ファーストプライオリティをはっきりと示してほしい。</p>	<p>生活困窮者に対する支援の取組は、構造改革だけではなく短期的にも実施していく必要があると考えている。例えば、就学援助については区の基準を見直して対象を増やした。実態を把握して生活支援を行うことが重要であり、社会保障分を含めた予算配分については、検討していく。</p>
<p>危機管理の問題のうち、区の地域防災計画について、水害のハザードマップの被災世帯数、被災人数を流域別に記載する等、行政と区民とが災害に対する危機感を共有しながら区政に活かしてほしい。</p>	<p>ハザードマップの被害想定について、区民に周知徹底を行い、危機感をもってもらう必要があると考えている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、医療従事者への差別や偏見があると聞いている。区においても人権擁護の周知を行ってほしい。</p>	<p>中野区においては新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）に関する差別や医療従事者への偏見についてあまり聞かないが、子どもの教育においても伝えられるように教育委員会にも話したい。</p> <p>人権擁護の周知については、区ホームページに掲載している。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野区構造改革実行プログラムの戦略Ⅰ、デジタルシフトについては進めてほしい。戦略Ⅰの個別プログラムの中で「来庁しなくても受けられる行政手続き」とあるが、これでは区役所に関係する手続きだけオンライン化するように見える。子育て世帯向けの事業について、今でも往復はがきでの申し込みが必要な手続きがある。子育て世帯にデジタルシフトを集中できれば、SNSでも広がり定着すると思うので是非進めてほしい。</p>	<p>構造改革実行プログラムに位置づけている「来庁しなくても受けられる行政手続きの充実」は全ての手続きを対象に考えている。往復はがきによる申し込みとしていた子育て世帯向けの事業について、電子申請もできるようになっていると聞いている。子育て世帯向けの手続きから順次デジタルシフトに着手していきたい。</p>
<p>再生可能エネルギーの調達を推進するべきである。例えば、里・まち連携自治体との連携をしてほしい。</p>	<p>再生可能エネルギー設備の導入支援や、再エネ由来電力の購入等の啓発などの環境施策を着実に推進していく。また、なかの里・まち連携事業では中野の森プロジェクトを行っており、今後もCO2排出量削減に寄与していきたいと考えている。</p>
<p>中野区は公園が23区中下から2番目に少ない。他区のように広い土地や木などを生かしてプレイパークを整備すると良いと思う。</p>	<p>子どもから大人まで楽しめる魅力ある公園を目指しており、今後も利用者の意見や地域の声を伺いながら公園整備や改修を進めていきたい。</p>
<p>江原公園について、ユニバーサルデザインに向けたトイレ改修などのため、2～3ヶ月閉園していたが、事前に住民説明会を実施する等、区民に十分な説明を行ってほしい。</p>	<p>公園の整備工事や改修工事に当たっては、近隣への影響を考慮し、住民への周知や工事内容の掲示、区のホームページによる周知を行っている。今後も公園整備を行う場合には、工事内容や工期、公園の閉鎖期間など、事前に町会や近隣住民の方への情報提供を図っていく。</p>
<p>校庭を天然芝にすることによって良いことが多くあったが、区は人工芝へ方針を転換した。昔の住区協議会のように地域住民の声を聞き、住民の力を活用してほしい。</p>	<p>学校の校庭の人工芝の導入により、芝生の維持管理に関して負担が軽減される一方で、マイクロプラスチックの海洋の環境に関する課題もある。人工芝の導入にあたっては、環境への影響等も考慮しながら小学校には順次人工芝を入れていく予定である。</p>
<p>区が行っている事務のミスにより、財政的に厳しい中で税金が無駄なお金として失われている。チェック体制の見直しについてどのように対応しているのか。</p>	<p>会計などの事務処理に誤りがあった場合、軽微なものを除き、事故報告書を提出させ、再発防止策について区長決定をし、庁内職員に周知徹底している。財務監査での指摘事項については、区ホームページにも掲載し公表している。</p>
<p>キリンレモンスポーツセンターについて、オリンピック・パラリンピックが開催され、区内に選手や関係者が来訪する場合、区としてどのような対策を行う予定であるか。また、子どもたちへどのような影響を想定しているか。</p>	<p>オリンピック・パラリンピックの開会について、キリンレモンスポーツセンターは卓球の公式練習会場に指定されている。選手の移動や会場で、区民と接触しないよう感染対策がとられると聞いている。</p>
<p>中野区環境基本計画のうち、2030年度までのCO2排出量の削減目標については、計画素案に記載の数値よりも高い目標を立ててほしい。安定した気候を維持するためにもより高い目標を取り入れるか、議論の場を設けてほしい。</p>	<p>区においては、2050年にCO2排出量実質ゼロの実現に向けて、2030年度までにCO2排出量を2013年度比で46%削減を目標としている。区としても責任をもって取り組んでいきたい。</p>
<p>基本構想が検討の視点の肝になると思うが、構造改革の個別プログラムの実施後、基本構想に書かれた区の将来像を実現できるかどうかのイメージが想像しにくい。あり方を検討した結果どうなるのか。</p>	<p>中野区構造改革実行プログラムで示している「あり方の検討」は実施の方法も含めて今後検討するという意味であり、大局的に議論する部分であると考えている。本日のタウンミーティングでは、皆さんが普段区政に感じている疑問を聞きたかったが、次回から、参加者の皆さんには、プログラム案などを示しながら議論ができるように工夫する。</p>